

平成29年度 作州津山商工会「経営発達支援計画」事業評価の報告

作州津山商工会では、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間、商工会が地域内の小規模事業者の事業の持続的発達を支援する為の事業計画である「経営発達支援計画」を策定しています。

この作州津山商工会「経営発達支援計画」について、平成30年8月2日に開催した、平成30年度第1回経営発達支援委員会において、有識者及び行政関係者を交え、平成29年度の事業実施状況と成果について報告・検証いたしました。結果について下記の通り報告いたします。

※各項目ごとの総合評価はA～Dの4段階で評価しています。

I. 経営発達支援事業

1. 地域の景気動向調査に関する事

【総合評価 C】

商工会管内の小規模事業者について業種ごとに、毎月景況調査を実施。その結果を毎月取りまとめた景気動向調査報告書及び4半期ごとに作成される中小企業景況調査報告書を成果物として巡回・窓口指導時に事業者へ情報提供するなど活用した。

また、行政・金融機関・支援機関等と定期的に情報交換を実施し、収集した情報や金融機関等が取りまとめた動向調査等についても小規模事業者の経営支援ツールとして活用するとともに、情報発信を行った。

○小規模事業者に提供した成果物の件数 16件

○行政・金融機関・支援機関等の情報交換会等回数 13回

2. 経営状況の分析に関する事

【総合評価 B】

決算指導対象者、経営計画策定事業者、金融支援等を行った事業者から提供された決算書等を基に小規模事業者の基礎データを把握。小規模支援システムに取り込むことで、経営状況の分析を行った。

○小規模事業者の基礎データを把握している事業者数 237者

○経営状況分析事業者数 216者

3. 事業計画策定支援に関する事

【総合評価 C】

小規模事業者が事業を持続的発展させるための事業計画策定支援について、経営計画策定セミナー・個別相談会等を実施し、持続化補助金・経営革新計画・経営力向上計画を中心とした事業計画の策定支援を実施した。

○事業計画策定事業者数 21件

うち補助金申請数 10者、計画申請 4者

4. 事業計画策定後の実施支援に関する事

【総合評価 B】

事業計画策定支援を行った小規模事業者が、計画を着実に実施する為の、フォローアップについて、巡回指導や助言、専門家の派遣などの伴走支援を実施した。

○経営計画フォローアップ件数 42事業者に対し延 440回実施

フォローアップ実施事業者のうち売上増加事業者数 16者

フォローアップ実施事業者のうち粗利増加事業者数 14者

5. 需要動向調査に関する事

【総合評価 C】

平成28年度に実施した、津山市・奈義町における需要動向調査結果をとりまとめた分析レポートと毎月公表される景気動向調査等を窓口・巡回指導時に小規模事業者へ提供し、需要動向を分析。事業計画作成支援に活用した。

○小規模事業者への需要動向調査・分析件数 97者

○小規模事業者への巡回指導件数2115件、巡回指導浸透率 65.1%

○小規模事業者への窓口指導件数2494件

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

【総合評価 B】

販路開拓に向け、商工会地域の特産品・工芸品などをPR、販売する作州津山ふるさと交流物産展を開催。また、他の支援機関と連携して、各種展示会・商談会等へ小規模事業者の出展を支援した。

○展示会・商談会等の開催及び出展回数 5回

○展示会・商談会等出展支援小規模事業者数 15者

○展示会・商談会等への参加により、新たな取引先を獲得した事業者数 10者

II. 地域経済の活性化に資する取組

【総合評価 A】

津山市・奈義町との懇談会を実施

委員会・部会・地区運営会議も活発に活動した。

また、各地域における夏祭りやふるさとまつりなど、行政や地域の様々な団体が実施するイベントへの参加・協力を行った。

○行政との懇談会開催回数 2回

○委員会・部会・地区運営会議開催回数 27回

○地域経済活性化に資する各種イベントへの参加・協力回数数 15回

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上の為の取組

つやま産業支援センターを中心とした支援団体による情報交換会に2ヶ月に1回参加。金融機関との連絡調整を通じ、情報収集を行った。その他、指導員会議において、情報交換を行い情報の共有を図った他、中小企業大学校や商工会連合会が開催する研修会への職員派遣を通じ、情報の収集、支援能力の向上を図った。

他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事 【総合評価 B】

経営指導員等の支援能力の向上の仕組み 【総合評価 B】

支援ノウハウ等を組織内で共有する体制 【総合評価 C】

IV. 施策利用状況等

1. 持続化補助金申請件数及び採択件数

平成28年度第2次補正予算（追加公募） 申請件数 10件 うち採択件数 7件

2. 経営力向上計画 認定件数 4件

3. 経営革新計画 承認件数 3件

4. 小規模事業者経営改善資金（マル経） 斡旋件数 34件

5. IT導入補助金採択件数 1件

6. 省エネ補助金採択件数 2件

◎経営発達支援委員会において、平成 29 年度事業について検証した結果並びに平成 30 年度の取り組みについて

I. 平成 30 年度第 1 回経営発達支援委員会における意見（抜粋）

（委員からの意見）

- ・報告による成果は数字的には悪くない。しかし実行性の検証が必要かと思われる。
- ・報告データ結果を見ると、実感として経営発達支援計画が会員に浸透しかねているのではないかと。経営発達支援計画を実施するため自分達（経営発達支援委員）も努力が必要である。
- ・事業実施状況及び成果については結果もフォローアップも良くできていると思う。
- ・こういった商工会の事業を会員は知ってくれているのか。事業承継に関しては、岡山県事業引継ぎ支援センターも設置されており、跡継ぎがいなくても M&A 等の方法もある。経営発達支援計画や統計調査の結果等をどう活用して行くのか、作州津山商工会管内の状況を会員に知ってもらうことが必要だと思う。
- ・会員への情報提供が一番だと思う。発達支援委員会の委員もこういった会議で得た情報を会員に伝えてはどうか。自分も後継者なので、様々な支援を活用し頑張っていきたいと思う。
- ・支援の内容について一般会員さんへの周知を考えていくこと、事業者が努力することで、指導員の負担も減らしていかなければならない。会員の勉強会も必要だと思う。

（行政からの意見）

- ・後継者問題は難しい。津山市では農業については U ターンや都心からの I ターンに力を入れているが、商工業の事業者についても同じ業種での後継者を探したり、マッチングにも協力が出来る。是非声をかけて欲しい。
- ・奈義町でもまちづくりに力を入れているが、まちづくりは事業者の方がいてこそ出来ることであり、商工会も経営発達支援事業により地域を盛り上げて欲しい。

（専門家からの意見）

作州津山商工会の各支所エリア、業種によっても状況や課題が違うので、地域で話し合うことも大切である。先を見据えて経営者が新しいことを始めて、未来を作っていく。津山市・奈義町との連携で都市からの U ターン事業者を増やしていく取組みも良いと考える。

II. 平成 30 年度の取り組みについて

商工会による地域の小規模事業者の伴走型支援を推進することで、事業計画の策定と事業計画の着実な実行を支援する。本事業の実施により、個社の経営課題の解決や売上の増加に繋げるための経営革新計画や補助金申請等の採択件数を増加させると同時に、経営発達支援計画における事業計画策定事業者数の目標達成を図る。

さらに、伴走型小規模事業者支援推進事業の活用により、小規模事業者の支援だけでなく小規模事業者の支援につながる商工会の体制強化を図る。

1. 事業計画の策定支援

地域の小規模事業者の持続的発展を推進する為、新規・既存・リピートで事業計画を策定する意欲のある事業者を重点支援先として、事業計画策定セミナー・個別相談会を実施することで、事業計画の策定とフォローアップを行う。

2. 経営指導員等の支援能力向上等

経営指導員等の職員が中小企業診断士等の専門家から経営計画の策定におけるポイントや各種ツールの活用方法を学ぶことで能力を向上させ、商工会の支援体制の強化を図る。

3. 経営発達支援委員会の開催

中小企業診断士等の有識者や行政などの外部委員を加えた委員会を開催し、経営発達支援計画の着実な実施・評価・検証を行う。